

## ① テーマ設定

1. **本当に興味があること**を選ぼう（1年間続きます）
2. 「仮説→調べ方（実験・調査）→結果」が**想像できるテーマ**が◎
3. 身近な疑問・実生活につながるテーマは進めやすい
4. 大きすぎ・曖昧すぎ・すでに結論が出ていそうなテーマは避けよう

## ② グループづくり

1. 仲の良さより**興味・方向性が近い**ことが大事
2. 人数目安：**3～5人**
3. 意見を言える人・作業を進める人・PC/デザインが得意な人がいると安心
4. 役割分担を最初に決めよう（あとで揉めやすい！）

## ③ 先行研究の調べ方

1. **Google Scholar／論文検索／図書館の本**を活用
2. 1つだけでなく**複数を比較**する
3. 丸写しNG。参考にしつつ**自分たちの疑問**につなげる
4. 英語論文も、要点を見るだけでOK（AI活用可）

## ④ 研究の進め方

1. **早め早めが勝負**（前期に動くと後期が楽）
2. 仮説→条件→比較→考察を意識
3. データ・写真・気づきは**こまめに記録**
4. 失敗してもOK。**正直に書く**と評価される

## ⑤ ポスター作成

1. **文字は最小限**、図・グラフ・写真を中心に
2. ポスターは「読むもの」ではなく**話すための補助**
3. フォント・色数・余白をそろえて**見やすさ重視**

## ⑥ 発表のコツ

1. **大きな声・ゆっくり・アイコンタクト**
  2. 棒読みは×。**指差し説明**で伝える
  3. 想定質問を考えておくと安心
-

# 進行チェックリスト

## テーマ・計画

- 自分が本当に興味をもてるテーマか
- 仮説・調べ方（実験/調査）が明確か
- 規模は現実的か（時間・予算）

## グループ

- 役割分担が決まっている
- 誰か一人に負担が集中していない
- 全員が内容を理解している

## 先行研究・データ

- 信頼できる出典か（論文・本・公的データ）
- 複数資料を比較したか
- URL・出典を記録している

## 研究の進行

- 計画通りに進んでいる（遅れていたら修正）
- データ・写真・メモを残している
- 条件比較・再検証を行った

## ポスター

- 文字が多すぎない
- 図・グラフ・写真が分かりやすい
- フォント・色・配置が統一されている

## 発表

- 台本に頼りすぎしていない
- 声量・話す速さは適切
- 想定質問と答えを準備した

---

**一言メッセージ：**完璧でなくて大丈夫。早く動く・正直にまとめる・楽しむ——この3つが成功のコツです。